



8月8日
木曜日

京都新聞社
The Kyoto Shimbun Co., Ltd.

発行所 〒604-8577
京都市中京区烏丸通夷川上ル

数十年に一度しか咲かない ランの株がぐんぐん成長するまで観察を続けていたとい
ことから「幻の花」と呼ばれていることに気づいた。7月う。

れるリュウゼツランが、長 上旬につぼみが膨らみ始め、
岡京市井ノ内の向日が丘支 高さ約6〜7分に達した。同
援学校で黄色い花を咲かせ 25日に待望の一輪が咲いた。

ている＝写真。開花は約30年
ぶりといい、道行く人たち
が、夏の青空に向かって高
く伸びた株の花を楽しんでい
る。



長岡京

現在は中部の房が鮮やかに
咲いている。府立植物園(京
都市左京区)によると、1株
の開花時期は約1カ月間で、
2〜3週間かけて上部も咲い
ていくという。

西野園枝副校長は「夏休み
で生徒たちが見られず残念で
す。花が咲いているうちに地
域のみなさんに見に来てほ
しい」と話す。

(梶原蓮菜)

リュウゼツラン 30年ぶり黄色の花



同校によると、リュウゼツ
ランがいつごろ植えられた
かは分からないという。職
員が6月中旬にリュウゼツ
いた。生徒たちも夏休みに入

地域住民も生育の様子をか
メラに収めてめったに見ら
れない開花を心待ちにして